

医師・看護師・介護職員の大幅増員を

日本医労連増員闘争ニュース

第37号

2009年9月9日

日本医労連増員闘争本部

TEL 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

- 看護職員の労働条件改善は共通の課題 -
共同の運動で、看護職確保定着運動の推進を

日本看護協会会長と懇談

日本医労連は、9日午後、日本看護協会会長と懇談を行いました。

日本看護協会からは、久常節子会長の他小川忍常任理事が対応。日本医労連からは田中委員長、桂木書記次長、中野中執（看護担当）、五十嵐書記が参加しました。

日本医労連側から、日本看護協会の「過労死を二度と繰り返さない」「安全で質の高い看護の提供のために」を目指して取り組む「ナースのかえる・プロジェクト」の提起を歓迎し、労働条件改善にむけて共同を呼びかけました。



時間外勤務の改善なくして離職は止まらない

久常会長は、この間の保助看法改正などの取り組みを紹介し、「厳しい看護職員の労働実態を何とかしたい。日本看護協会が、看護関係者や労働組合との接着剤となって運動を推進したい」と述べました。日本医労連は、日本看護協会が呼びかけている「看護職確保定着推進関係団体連絡会」への参加を表明し、秋に予定している退勤時間調査、看護労働実態調査などに取り組み、運動の前進を図りたいと決意を表明しました。

世論と政治を動かし、看護問題の浮上を

総選挙後の新しい政治情勢のもとで、看護問題をどう浮上させるかについて、率直な意見交換を行いました。今後、各政党の個別の議員にも働きかけを行うとともに、党派を超えた関係議員の共同を強め、看護問題を政治の場で議論してもらう。そのためにも、看護関係者の共同と一層の世論化が求められているとの認識で一致しました。